

日本共産党
参議院議員

紙 智子

国会報告

新しい政治を拓く年

いのち、食、農を
原点に！



「政府はコメの安定供給に責任を持て」9・10 農林水産省前行動



自民党農政のチェンジを

この10年、TPP(環太平洋連携協定)などの輸入自由化、農協改革、生産者に自己責任を押しつける新自由主義的農政が続き、「農業で生活できない」「後継者がいない」との声が一気に広がりました。紙議員は、安倍政権が進めた農政を検証し、抜本的な変革を求めました。

今年の私の漢字は「拓」

新しい時代を拓く一年にしたいと思います。
国民は衆議院で与党を過半数割れにしました。
政治を変えるチャンスです。
被爆80年の今年、核兵器も、戦争もない
希望の道を拓きましょう。

臨時国会で、政治改革2法を提出し論戦をリード

「企業・団体献金全面禁止法案」と「政党助成法廃止法案」を参院に提出。委員会では日本共産党案の発議者として井上哲士幹事長が答弁に立ち、論戦をリードしました。



政治改革2法を提出=11月28日



福島原発事故から今年で14年、今も生活が奪われていると、福島県農民運動連合会の官邸前行動=12月19日



北海道に加え、東北・北関東に活動地域を広げた畠山(はたやま)和也さん(真ん中)、紙智子、岩淵友両参院議員

2025年冬号

発行 ● 紙智子・国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館710
☎03-6550-0710 FAX03-6551-0710

ホームページ▶



Facebook▶



カザ攻撃の中止と停戦を求める

イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への攻撃が止まらないなかで紙議員は、国会でも街頭でも「ストップ・ジェノサイド」を訴え、ガザ攻撃の中止と停戦を求める運動を広げています。



猫塚義夫・北海道パレスチナ治療奉仕団
団長と宣伝=10月

沿岸クロマグロ漁の漁獲枠の増枠を要求

紙議員は、11月に質問主意書や12月の委員会で沿岸漁業への大幅な増枠を求めました。2018年に決めたクロマグロの漁獲枠は沿岸漁業に不信と不満を招いたと指摘したところ、江藤拓農水相は「しこりが残っている」と認めつつ、水産庁の原案通り押し切りました。



沿岸漁民連の緊急要請に同席=11月28日

核兵器も戦争もない世界に



原爆の爆心地で献花する党の議員団ら=8月8日

昨年は日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。今年は被爆80年です。紙議員は、北海道被爆者協会とも懇談し、日本政府に核兵器禁止条約への参加を強く求めます。

経営危機が続く酪農に緊急支援を

酪農の危機は続いています。中央酪農会議が「日本の酪農家が1万戸割れ、6割が赤字、半数が離農を検討」との報告を公表しました。紙議員は、飼料価格の高騰に支援策が追いついていないとし、緊急支援を求めるとともに、政府による輸入を減らすよう求めました。



北海道中標津町で「マイペース酪農」について聞き取り=8月

急がれるクビアカツヤカミキリ被害対策

桃や梅の木を食い荒らすクビアカツヤカミキリ(害虫)被害。2012年に愛知県で発見されてから10年間で、近畿をはじめ14都府県に広がりました。紙議員は昨年4月から国会で取り上げ、その後、産卵を防ぐ対策や、被害が出た場合の経営支援が動き始めています。



和歌山県果樹試験場かき・もも研究所にて=12月11日

北海道コンブ漁の不漁対策



根室市でコンブ漁の聞き取り=8月

北海道産コンブの生産量が1万トンを割り込み、不漁に見舞われています。紙議員は、海洋環境がコンブ漁に影響を与えているとし、経営を継続できる対策の検討を求めました。

アイヌ語話者育成予算を初めて計上

紙議員が求めていたアイヌ語を母語として話す話者を育成する予算が初めてつきました。また、アイヌ施策推進法の見直しは、アイヌやアイヌ団体が参加できる仕組みを求めています。

新たな「慰安婦」関係2文書送付

紙議員が指摘した防衛省所有の「陸軍衛生史第6巻軍娯楽場(慰安所)取締規則」と国立国会図書館所有の「大審院(現・最高裁)判決の判例」を初めて「慰安婦」資料として内閣官房副長官補室が受け取りました。今年度2例目です。



菊池一春前訓子府町長と懇談=ほっかい新報新年号に掲載



千島歯舞諸島居住者連盟と懇談=8月



新婦人北海道から選択の夫婦別姓を要請=11月27日